

文化財というのはね

尾道には文化財がたくさんあるよね。文化財というのはね、いろいろな種類があるから、それぞれが文化財保護法（文化財を守る決まり事）によって守られているよ。

文化財は、種類ごとに分類して守られているよ。

例えば「有形文化財」には、「市重要文化財」「県重要文化財」「国重要文化財」「国宝」というように、市・県・国の段階に分けられていて、尾道には国宝が4つもあるよ。

有形文化財

- ・建造物
- ・美術工芸品

「旧大浜崎通航潮流信号所施設」は、ここに入るよ。
尾道はお寺のお堂とかもたくさん指定されているね。
← さすが「寺のまち尾道」だね。

無形文化財

- ・演劇・音楽・工芸技術など

← 仏像や、絵画、彫刻、工芸品など、
尾道でたくさん指定されているよね。

民俗文化財

- ・無形… 信仰・年中行事・風俗慣習・
民俗芸能・民俗技術
- ・有形… 無形民俗文化財に用いられる
衣服・器具・家屋など

御調・尾道・向島・因島・瀬戸田には、
← いろいろな神事や、神楽・おどり・お祭りがあるよね。

それぞれの種類の中に
「重要なもの」「特に重要なもの・
特に価値のあるもの」によって、
守られているよ。尾道の宝ものを
みんなで大切にしていきたいよね。

記念物

- ・史跡・名勝地
- ・動物・植物・地質鉱物

村上海賊ゆかりの城跡や、貝塚はここに入るよ。
← 名勝地というのは、景色のきれいな場所のことだよ。
← 因島鏡浦の「ランプロファイヤー岩脈」は
地質鉱物に入るね。

文化的景観

- ・地域における人々の生活または
生業および当該地域の風土により
形成された景観地（棚田・里山・用水路など）

日本の文化芸術を
世界に、そして次の世代へと
伝えていくお仕事を
されているよ！

伝統的建造物群

- ・宿場町・城下町・農漁村など

埋蔵文化財

- ・土地に埋蔵されている文化財

文化財の保存技術

- ・文化財の保存に必要な材料や用具の
生産・製作、修理・修復の技術等



尾道ユネスコ協会
ホームページQR



文化庁ホームページ
QR

大浜崎灯台 国重要文化財指定記念



尾道ユネスコ協会

海と共に 生きる町 尾道

大浜崎灯台と船と 尾道・瀬戸内海



令和6年(2024)8月15日

おの みち し いんのしま おお はま さき とう だい

尾道市因島の大浜埼灯台が、 くにじゅう よう ぶん か ざい 国重要文化財に指定されました！

きゅうおお はま さき ふうこう ちようりゅうしんごうしょ し せつ

名称 旧大浜埼通航潮流信号所施設

明治27年(1894)に、設置されました。

灯台は、今も航海の安全のために活躍中かつやくちゆうです。

これまでは広島県重要文化財でしたが、令和6年(2024)8月に、国重要文化財に指定されました。灯台および信号所などが国重要文化財に指定されるのは、広島県内では初めてです。

この灯台が国重要文化財に指定されたのは、明治時代に作られた灯台が残っているだけでなく、その周りの通航信号塔ふうこうしんごうとう(木造)、ひるま屋間潮流信号機ちようりゅうしんごうきや、けんちようじよ検潮所、はたざお旗竿、石垣が、保存状態が良く残されていたからです。

所在地：尾道市因島大浜町 因島大橋記念公園

祝！国重要文化財指定

きゅうおお はま さき つう こう ちやうりゆう しん どう しょ し せつ 旧大浜埼通航潮流信号所施設

この灯台はね、明治期に作られた灯台で、明治当時の潮流信号所の面影を残す建物としては国内で大浜埼だけだね。近代の海上交通の歴史の中で価値が高いとして指定されたよ。今は通航信号塔が「大浜埼灯台記念館」になっているよ。

国重要文化財の指定になった主な理由

4つの施設・設備が全て、保存状態も良くそろっていること。

つうこうしんごうとう げんぞんゆいいつ
通航信号塔が、現存唯一の木造の信号塔であること。

せんぱくつうこうしんごう き き
通航信号塔の内部には、船舶通航信号機器がそのまま残っていること。

や かんちやうりゆうしんごうとう
夜間潮流信号塔（大浜埼灯台）が、今も現役で灯台の役目を果たしていること。

日本で大浜埼だけなんて、とても大切な灯台だね！



今ではレーダーやGPSがあるけれど、昔の人は、この灯台だけで海を渡ったんだよね。すごいね。

回転



海は、満潮と干潮が1日に2回ずつ起こるから昼間は、その度に信号を変えないといけないということだね。

① 昼間潮流信号機

腕木の両端に四角と丸の板が取り付けられていて、四角い板は黒色で、丸い板には赤色が付けられていたよ。日中の間は腕木を回転させて、丸と四角の板の位置と角度で、布刈瀬戸を通る船に、潮の流れの変化を伝えていたよ。



撮影：麻生祥代

② 通航信号塔 明治43年（1910）建築の、国内現存唯一の木造の通航信号塔で、特に内部の船舶通航信号機器が、そのまま残っていることも貴重だよ。



③ 夜間潮流信号塔（大浜埼灯台）

明治27年（1894）に設置されて、夜間に航行をする船を助けたよ。



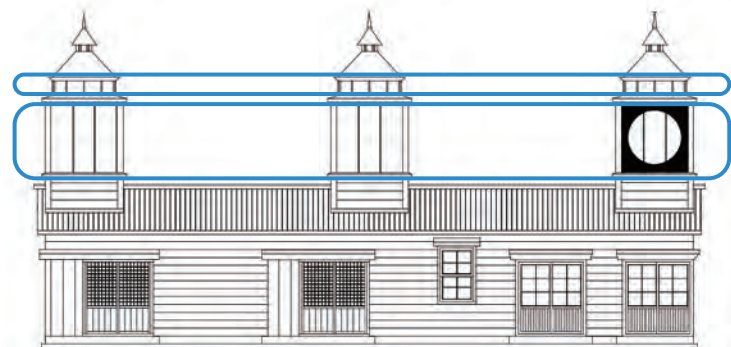
④ 検潮器浪除塔 潮位（潮の高さ）を測る塔で、中には検潮器が置かれていたよ。

つこうしんごうとう 通航信号塔の役割と、その意味。

西行きの船や東行きの船へ、向かってくる船の「位置」と「海域」を、昼間・夜間ごとに1〜3の段階に分けて知らせていたよ。今のように通信技術がまだ発達していない時代だから、人が常に、手動で通航・潮流信号機を操作をしていてね。1階は見張り所・事務室などになっていたよ。



写真：郵政博物館



← 夜に出す信号

← 昼に出す信号

第1種

夜・・・白で点灯
昼・・・丸



第2種

夜・・・赤で点滅
昼・・・三角

第3種

夜・・・赤で点灯
昼・・・四角

灯台の図：海上保安庁
尾道海上保安部HPより



うすぐら きり
こんな薄暗い霧の中を、
船で行くのは大変だよ。

5月中旬頃に見ることが出来る、濃霧の布刈瀬戸

ふなの船乗りの豆知識

船の汽笛にはどんな意味があるの？

尾道で海から少し離れていても、遠くから「ブオ〜〜」っと船の汽笛が聞こえることがあるよね。音の長さ・高さ・回数で意味が違っててね。約5秒の長い音と、約1秒の短い音の組み合わせで、近くにいる船へ信号を送っているよ。汽笛の音程は、大きな船はお腹に響くような低い音で、小さな船は高い音を鳴らすよ。船が汽笛を鳴らす時は、「船が他の船を追い越す時」「狭い水道に近づく時」「霧の中で前方が見えづらい時」「警告の時」など、事故を防ぐための決め事があるよ。



大浜崎灯台のある布刈瀬戸の海霧

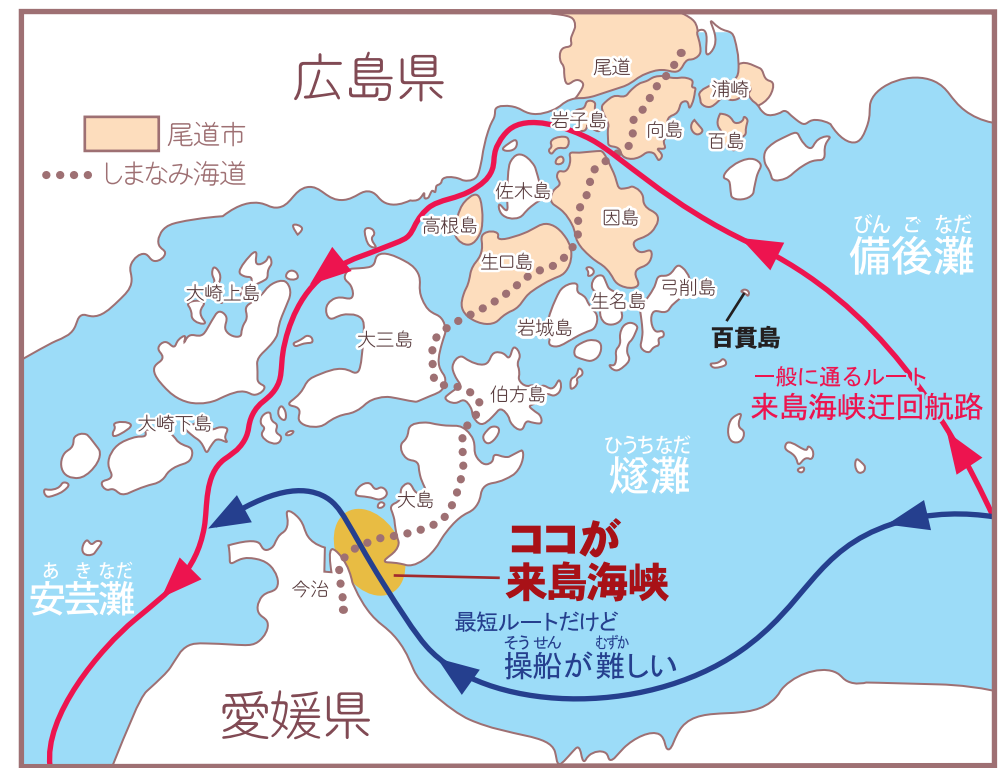
5月終わり頃の梅雨前の早朝で、気象条件がそろった時だけ見える気象現象だね。三原の沼田川あたりから、海流に沿って海霧が流されている様子が分かる、気象学的にもとても貴重な風景だよ。

大浜埼灯台のある海「布刈瀬戸」

くるしまがいきょううがいこうろ 来島海峡迂回航路

遠回りだけど、来島海峡の
潮流の半分ほどの速さで、
小型船の通れる航路。

明治20年代(1887～)になると、瀬戸内の海上での交通量が急増したことがあってね。燧灘から西の安芸灘へ出る航路には、名だたる強潮流(潮の流れがとても速いこと)で有名な来島海峡(最強時約10ノット〔時速約20km〕)という難所になっていて、海の事故もたくさん起きたから、これに代わる航路として、百貫島から三原瀬戸を経て、大崎下島へ行く航路の開発がされたよ。その航路に作られた灯台は全部で8つあってね、2番目の灯台が布刈瀬戸にある大浜埼灯台だよ。(1番目の灯台は、百貫島灯台だよ。)



鳴滝山上空から望む迂回航路

海とともに発展する町

かいじとし おのみち 海事都市 尾道

おんだんきこう
瀬戸内海の温暖気候と、
みなと おのみちすいどう
天然の良港“尾道水道”で、
ぶつりゆう ちゅうけいち
物流の中継地へ。

尾道は850年の歴史の中で、昔から海上交通の中継地として栄えていてね。
中世には村上海賊、近世には北前船、そして近代になって鋼鉄製の大型船
に変わっても、長い歴史の中で造船業が尾道の産業を支えてきたんだね。まさ
に海と共に生きる町だね。「海事都市」というのは、海事産業…海運業・造
船業・船舶工業が盛んな所で、歴史と伝統を大切にしながら、新しいこれから
を考えている町のことだよ。

しんすいき
進水式の様子だね。
船が初めて海に入る
記念日だね。



ないかいそうせん
内海造船
かふしがいしや
株式会社 HP

進水式についてのQRだよ



一般公開している
造船所もあるから
HPを見てみよう！



おのみちそうせん
尾道造船
かふしがいしや
株式会社 HP

進水式見学情報 QRだよ

尾道には、造船会社や関連会社が、こんなにあるんだね！

※令和5年(2023)時点

約20社

尾道市にある
造船所の数

32社

約35社

船用の工業製品を
つくる会社の数

尾道市の造船所で
年間作られた船の数

※総トン数20トン以上

4000人以上

造船所などで
働く人の数

平成18年(2006)には、
日本第1位になりました。
第2位は長崎市、第3位は神戸市と続くよ。

かいこうせん りよきやくせん
大型の外航船から小型の旅客船
かんこうちやうせん さぎやうせん
や官公庁船、作業船など、それぞれ
の会社が得意とする技術や特徴を
活かした船づくりが行われているよ。

海事都市尾道HPのQRだよ。
尾道港開港から今までの
尾道の歴史を見ると、
海と共に生きてきた町
ということが良く
分かるね。



大切な船の修繕 造船後も、ていねいに。

船自体はもちろんだけれど、人や積荷の安全を守らないといけない
よね。だから定期的に造船所で性能や安全性をチェックするよ。
ペンキ塗りなどの基本的な作業から、大きな部品の交換といった
工事まで、航海が安全に行えるように、あらゆる修理をするよ。

船は全てオーダーメイド！

船は一品ごとに全てオーダーメイドでね。一つとして同じ船はなくて、どの船もそれぞれの
役割や船主の要望に合わせて、全で一から造られていくよ。それだけに、尾道には船を
造る「造船業」、エンジン・プロペラ・航海用の機器・クレーンなどを作る「船用工業」、
国内外を船で物や人を運ぶ「外航海運」「内航海運」、人や物を運ぶ「旅客船事業所」
があつて、船に関わる会社がたくさんあるんだね。

船のできるまで

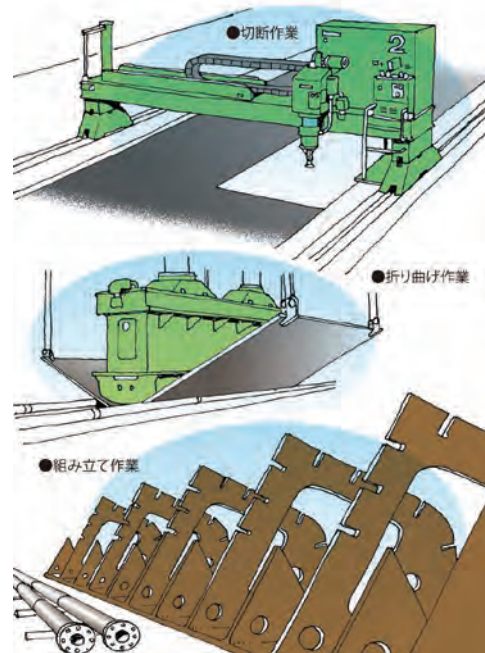
造船・船のお話

尾道の造船所前の道路を走っていると、
見上げるほど大きな船が見えるよね。
どうやって造られているんだろう？

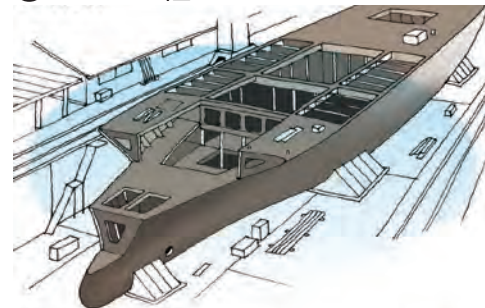
船は船主から注文を受けると、造船所で造られるよね。船にはたくさん種類があるけれど、船が造られる工程は、設計から艤装の順に、ほとんどが「ブロックけんぞうほうしき建造方式」という方法で造られていくよ。

① 受注 ② 設計 ③ 水槽試験 ④ 資材発注

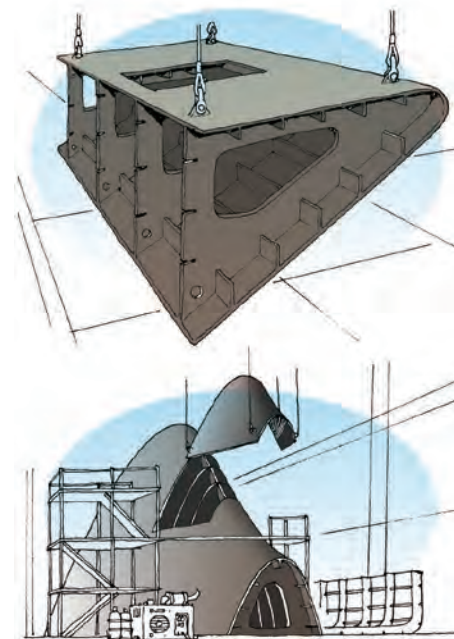
⑤ 加工・組み立て



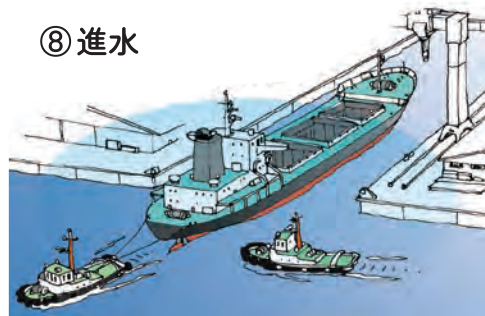
⑦ ブロック組み立て2



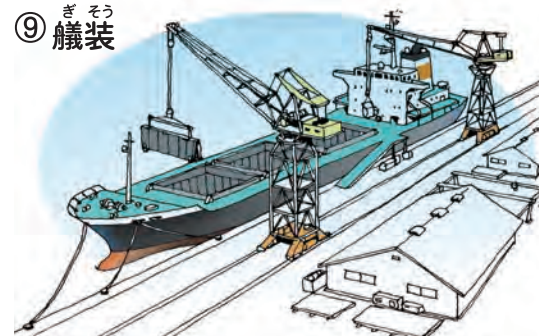
⑥ ブロック組み立て1



⑧ 進水



⑨ 艤装



⑩ 試運転引き渡し



船の種類は大きく4つに分けられます

商船 (フェリー・貨物船・タンカー)

人や荷物を乗せて運ぶ船です。

作業船 (クレーン船・給油船・海洋調査船)

作業をするために使われます。

艦艇 (軍艦・巡視船・護衛艦)

海上自衛隊の船など、海の治安を守る船です。

漁船 (漁業船)

魚介などを捕るために使います。

その他 (モーターボート・ヨットなど)

瀬戸内海の海は、干満差が比較的大きくてね、
最大4メートルを超えることがあるよ。尾道水道
も、海沿いに行くと、満潮の時と干潮の時の高
さが良く分かるよね。船を進水する時は、海の
干満も見ると必要もあるのかもしれないね。

尾道の造船所や
関連会社で手掛けられて
いる船の種類だよ。

尾道水道には、
生活で使うフェリーも
活躍しているよね。



昔の尾道コラム

昭和39年(1963)9月に撮影された、尾道
水道の向島側にある日立造船の写真だよ。
数字のある船が「キャッチャーボート」といっ
て、捕鯨船 (クジラを捕まえる船) だよ。昔は
捕鯨船も尾道を出入りしていたんだね。他
の船もたくさんあるね！



ぎょう鉄のお話

ほのお 炎と水で、鋼の板を
いろいろな形に曲げる職人技

船体を造っていく工程の一つに、鋼の板を焼いて曲げる「ぎょう鉄」という工程があるね、船の製作にほぼ特化した専門の技術だよ。ぎょう鉄というのは、それぞれの船の設計図に合わせて、平らな鋼の板をたわめる(曲げる)ことだよ。実際の様子を写真で見てみよう。

きょたい こうばん
巨大な鋼板をクレーンで
運んで準備するよ。
鋼板には曲げるための
下書きが書いてあるよ。

①



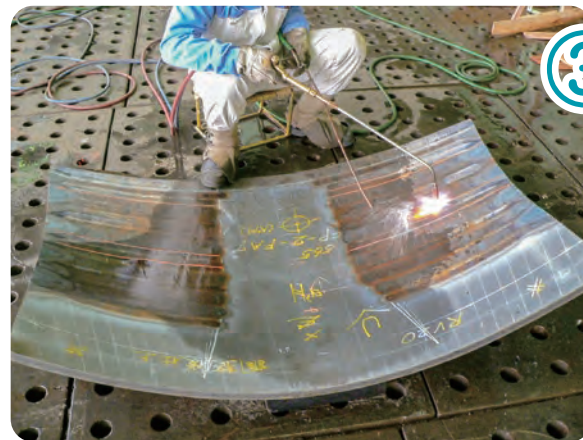
てつ はがね
「鉄」と「鋼」は
ちがうものでね、
鉄よりも、鋼の方が
とつても丈夫なんだよ。



②

きがた
木型は完成した時の
形で、下書きと照らし
合わせながら曲げて
いくよ。

各板ごとに、
必要な形に合わせて
木型が作られるよ。



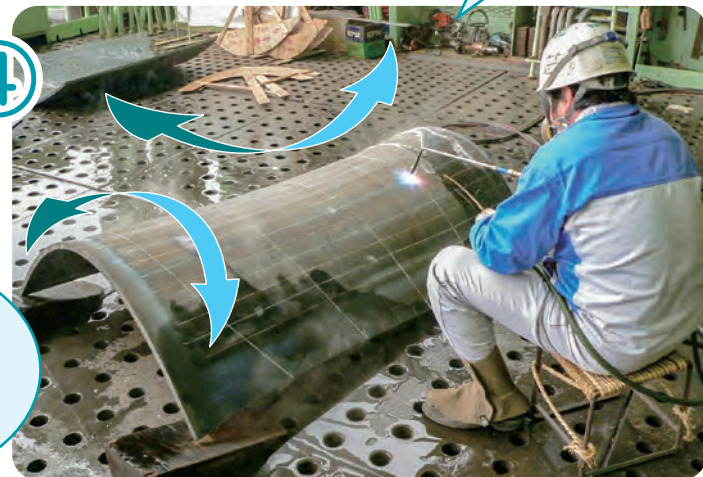
③

曲げている時の様子だよ。
1枚1枚が全て違う形で、
複雑な形だから機械では
作れなくて、全て人の経験
と技術で作られているよ。

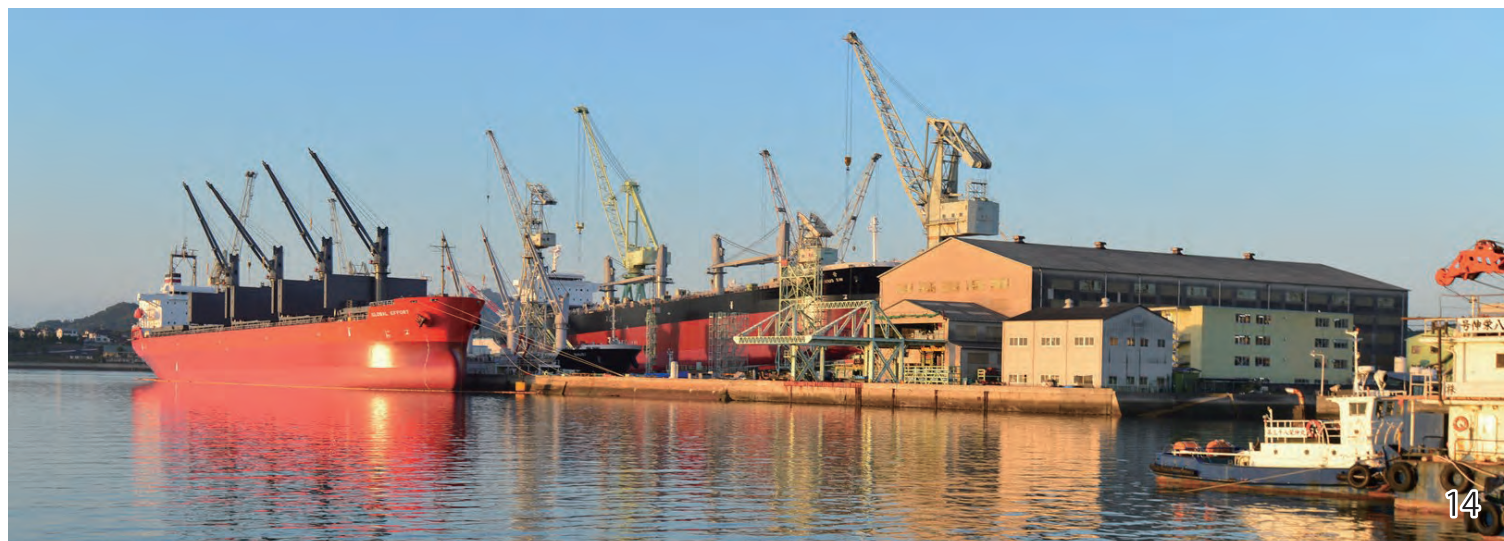
タテの曲がりと、
ヨコの曲がり
組み合わせられて、
とても複雑な形だね。

2と3の工程を
くりかえし
繰り返しながら
完成させていくよ。

④



「ぎょう鉄」は、
長い年月をかけて
出来るようになる、
とくしゅ
特殊な技術だね。



尾道の造船 今・昔

はんせん きはんせん しょうきせん きせん
帆船・機帆船・蒸気船・機船など
尾道では昔から船が
生活の一部だったんだね。

尾道の歴史には「尾道三大黄金期」と
いって、特に栄えた時代があつてね。第
1期・第2期・第3期がある中で、近代
になってからの「第3期」は、江戸時代か
ら明治時代へ変わっても、尾道は変わら
ず広島市に並んで、広島県の東側の経
済・通信・交通の重要な場所だね。周り
を海に囲まれている日本は、国が栄えた
ことで船が必要になって、造船ブームが
きたことで、尾道の港がとても栄えたよ。
明治時代末頃から、大正・昭和にかけて
の尾道の姿を見てみよう。



造船中の様子。
ブロックごとに作ったパーツを
つなぎ合わせたところだよ。

左の写真の船は
帆船といって、潮の流れと
風の力だけで進む船だよ。

大正時代の頃の写真だよ。
尾道水道を行き交う帆船と、
後ろに千光寺が見えるね。

瀬戸田の家の庭を写した写真だね。
木造船は、自宅の庭で造られるほど
船が身近にあったんだね。



明治時代から大正時代になると、日本が海外との交易が盛んになるにつれて、
鉄(鋼)の船が欲しい人が増えていったね。船を必要とする人が増えると、作る場
所もたくさん必要になって、天候の安定した災害の少ない瀬戸内海へ、造船所
が集まるようになったよ。

特に海と一緒に生きてきた人々の技術は造船に活かされて、荒れた海でも
安全に航行出来る船を造ることが出来たおかげで、その高い技術が世界から
評価されるようになったよ。尾道や瀬戸内海にある造船所で生まれた船は、今
も世界中で活躍しているよ。



昭和40年頃だね、進水の時の様子を、向島側から見た写真だよ。小さな船が、尾道水道をロープで誘導しているよ。

港にはたくさんの人が
行き交っていて
とてもにぎやかだね！



明治時代末～大正時代の頃の尾道港の様子。
現在の商工会議所があるあたりの風景で、
左奥に煙を出している蒸気船が停まっているね。

日立造船東工場の風景。
(昭和40年頃)

きたまえばね 北前船が運んだもの

江戸時代中期～明治30年代
北前船の寄港地だった尾道。
北前船は何を運んだのだろう。

「北前船」というのはね、江戸時代中期～明治時代に、大阪～瀬戸内海～日本海～北海道の航路で、船主が商品を売買しながら港を回る船のことを言うよ。港町である尾道の歴史の中でも重要な船でね。この船が寄航するようになって、尾道は経済も文化も、さらに繁栄していったよ。

帆の数で船の大きさが分かるよ

25本だと「千石船」という船でね。千石船の「千石」とは、150tの重さを表すよ。



たんすう こくすうかんさんひょう
反数による石数換算表

反数	石数
17	400・・・60t
20	500・・・75t
21	600・・・90t
22	750・・・113t
23	800・・・120t
24	900・・・135t
25	1000・・・150t
26	1200・・・180t
27	1300・・・195t
28	1350・・・203t
29	1500・・・225t
30	1600・・・240t

※石数×0.15=t数



ていはくちゅう
瀬戸田に停泊中の北前船
写真提供：横浜開港資料館

重さの
目安

1石 = 150kg = 2.5俵
1,000石 = 150,000kg = 2,500俵

尾道の塩は、 北海道で 大切に使われて いました

北海道へ向かう荷物には、大阪で仕入れるお酒や、衣料、たばこ、飲料水、瀬戸内海の塩、砂糖、蠟、東北で仕入れるお米があつてね、特に北海道ではニシンのメカスを加工するために、瀬戸内海の塩がとて重要だったよ。塩の中でも生口島の瀬戸田にある「三原屋堀内調右衛門」という人が作った塩は、特に北海道での加工処理用の塩として大切にされたよ。

尾道から 全国へ 運ばれた もの

米や、海産物・酢・酒・塩、肥料（ニシンのメカス）、石造品、船のイカリなどが全国へ行っていたよ。今でも尾道を歩いていると、見かけるものがあるね。



電車の 「上り」と「下り」は 北前船からきた 言葉だった

今、電車や国道・高速道路などで使う【上り／下り】という言葉は、北前船から来ているよ。北前船の来ていた頃は、京都や大阪が始まりとして考えられていたから、大阪から北海道へ向う荷物のことを「下り荷」と呼んだよ。

米相場は 情報合戦

お米の値段は日々変わっていくよ。大阪の米市場の回りには、色んな地域から来た商人の支店があつて、毎日の米相場を、屋根の上からハタをふつて、夜のちようちん信号・のろし・伝書バトなどで自分たちの住む町まで伝えていたよ。尾道の久保にある浄土寺の裏門の屋根裏には、ハト小屋があつてね、そこに伝書バトが飼われていたよ。今もハトの寺で有名なお寺だよ。



尾道は北前船 文化も運んだ

の寄港地だったおかげで、造船の基地が北前船増えていったよ。寄港地では船の修理や建造が必要になったことで、尾道に宿泊する人が増えて、商品が売買される以上の繁栄を生み出したよ。それだけではなくてね、寄港地周辺では他の地域の文化を広める役割もあつたよ。北前船は物流だけではなくて、人や文化を結んだ船なんだね。

全国から尾道へ 運ばれたもの

昆布やブリ、木材が尾道へ運び込まれていたよ。ブリは尾道の住吉浜のあたりに集められていてね。江戸時代にその様子が描かれた絵が、浄土寺へ伝わっているよ。



美しい自然の風景と海の幸に恵まれた海
せとないがいこくりつこうえん
瀬戸内海国立公園

令和6年(2024)に
瀬戸内海国立公園
制定90周年を迎えました

「瀬戸内海」という名前と呼ばれるようになったきっかけは、明治時代に欧米の人が、この海域を「The Inland Sea」と呼んだことから始まるよ。美しい自然の風景がたくさんあって、海の幸にも恵まれた環境があるのは、世界でもとても貴重な場所だね。その豊かな海を、これからも大切にしていくために、瀬戸内海が国立公園に指定されているよ。



地図参照：環境省HP「せとうちネット」より

国立公園というのはね。

日本を代表する優れた自然があるところだね。「国立公園制度」という国が定めた決め事によって決められるよ。瀬戸内海は、昭和9年(1934)3月16日に雲仙・霧島とともに、日本で最初の国立公園「瀬戸内海国立公園」になったよ。

かんきょうしょう
環境省HPのQRだよ。
全国には、国立公園が
35ヶ所も
あるんだね！



スナメリ



ひんごなだ
最近には備後灘で
スナメリが見れる
ことがあるよ。

“瀬戸内海国立公園の父” 小西和

瀬戸内海の風景のあまりの美しさに感動して、瀬戸内海について本を書いた人がいてね。

小西和という明治時代の人で、本の名前は『瀬戸内海論』(明治44年(1911)発行)といってね、日本で初めて瀬戸内海についてまとめた本を書いたよ。

この人が、今でいう国会に「日本にも国立公園を作ることが必要だ」と提案して、「国立公園制度」という決め事が定められたよ。

瀬戸内海を国立公園にした人であることから、「瀬戸内海国立公園の父」と呼ばれているよ。



出典：フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』

小西和(こにし かなう)。現在の香川県さぬき市出身。『瀬戸内海論』の著者。北海道の札幌農学校で学び、農場経営や新聞記者に従事したのち、国会議員を務めたよ。



『瀬戸内海論』に掲載されている尾道のページ

著書『瀬戸内海論』

瀬戸内海を、地質や地形、潮流、生物と産業との関わりや、観光など、瀬戸内海がいろいろな視点で書かれているよ。尾道のことも書かれていてね、尾道の中央図書館では、図書館内でだけ読めるよ。



瀬戸内海の範囲は、どこからどこまで？

国の決め事によって色々な見方があってね。「漁業や人が働く海域」の解釈と、「国の解釈」によって海域が変わるよ。

領海及び接続水域に関する法律施行令（領海法施行令）第1条

世界共通の決め事「海の憲法」に合わせて、日本が国内の海に関係する決まり事を細かく整えたよ。その中で、「瀬戸内海と他の海域との境界について」決められたものだよ。



この決め事は、昭和52年(1977)の「海の日」から使われ始めたよ。今では7月第3月曜が祝日になっているよね。

瀬戸内海環境保全特別措置法（瀬戸内法）第2条 第1項

世界にも注目されているほどの美しい風景と、様々な生き物がいる豊かな海で、人々の生業や生活・文化・地域のにぎわいが、自然と調和した景観を未来に伝えていくための決め事だよ。



2つの地図を比べると、赤丸のところが違うね。

尾道の海は、春にはタイ・メバル・ワカメ・アサリ、夏はキス・ギザミ・タチウオ、秋はホゴ・カレイ・イカ、冬はハゲ・ワタリガニが有名だよ。

瀬戸内海の特徴「瀬戸内海式気候」

夏に吹く風は四国山地に、冬に吹く風は中国山地によって風がさえぎられるから、年間を通して天気や湿度が安定していいね。梅雨の頃以外は雨が少ないことが特徴で、風向きで雨の降る日が変わる「太平洋側気候」や「日本海側気候」の地域とはまた違った気候だよ。



尾道水道・備後灘の見える瀬戸内海



日本海側(島根県の鞆ヶ浦)



太平洋側(高知県の桂浜)

写真: photoAC

日本海や太平洋は波がとても荒く大きくて、瀬戸内海は、とても穏やかだね。

瀬戸内の夏の風物詩「瀬戸の夕風」

「風」というのはね、風が止まった状態のことをいうよ。瀬戸内海式気候というのは、外からの影響を受けにくくなっているから風が発生しやすくてね。夏の瀬戸内海では、夕方になると風がピタリと止まって、とても蒸し暑くなることがあるよ。海峡から離れていて比較的内側にある、特に広島県や岡山県は「瀬戸の夕風」で知られているよ。



7月下旬の夕方6時頃の布刈瀬戸。ベタ風の状態で水面に波がなくて、まるで鏡のようだね。